

■ 蜷山政道 政治学者。日本に於ける現代行政学を創始し、<敗戦>後の民主社会主義勢力の理論的支柱となった。

ろうやままさみち

日清戦争終・1895 = 新潟県刈羽郡で生まれ、群馬県で育つ。

日露戦争始・1904 = 9歳：

日露戦争終・1905 = 10歳：

明治天皇没・1912 = 17歳：

大正政変・・1913 = 18歳：県立高崎中学校を卒業。

ロシア革命・1917 = 22歳： 第一高等学校を卒業し、東京帝国大学法科大学政治学科に入学、
吉野作造の影響を受け、東大新人会に参加、河合荣治郎の勧めで、イギリス社会主義を研究、

大暴落・・・1920 = 25歳： 法学部となった後、卒業。助手に採用され、

原敬首相暗殺1921 = 26歳：

水平社結成・1922 = 27歳： 助教授となり、

治安維持法・1925 = 30歳：「政治学の任務と対象」。欧米諸国に留学に出、

金融恐慌・・1927 = 32歳： *とくにイギリスに学んで、帰国し、東大法学部に初めて設置された行政学講座の初代担当者となり、
共産党事件・1928 = 33歳： 教授に昇格。

海軍軍縮条約1930 = 35歳：「行政組織論」、

満州事変・・1931 = 36歳： 昭和研究会の中核にあり、

帝人疑獄事件1934 = 39歳：近衛文麿親善特使に同行して訪米。

日中戦争始・1937 = 42歳：

健保+総動員1938 = 43歳： {改造}に発表した論説で、東亜共同体をめぐる論争の口火を切る。

第二次大戦始1939 = 44歳： *東大肅学事件(平賀肅学)に際して教授を辞任し、東京政治経済研究所を主宰。

大政翼賛会・1940 = 45歳：

日米開戦・・1941 = 46歳：

・・・・・1942 = 47歳： 衆議院議員選挙に大政翼賛会推薦候補として出馬し、当選、

敗戦・・・1945 = 50歳：<敗戦>後、辞任、中央公論社副社長となるが、

新憲法公布・1946 = 51歳：言論活動に専念するため、辞任。

新憲法施行・1947 = 52歳： 公職追放となるが、

極東裁判決・1948 = 53歳： 木村健康・丸山真男らの嘆願書もあって、解除され、日本政治学会理事に就任、

三大事件・・1949 = 54歳：「英国地方行政の研究」「日本における近代政治学の発達」、公益事業学会理事長。

朝鮮戦争始・1950 = 55歳：日本行政学会を設立し、理事長。「行政学講義序論」「比較政治機構論」、

独立回復・・1951 = 56歳： 民主社会主義連盟理事長。

メーデー事件・1952 = 57歳：「政治学原理」、

自衛隊発足・1954 = 59歳： *お茶の水女子大学学長、民主教育協会会長に就任。

なべ底不況・1957 = 62歳：憲法調査会委員。

イスタンブール・1958 = 63歳：

美智子妃・・1959 = 64歳：退任。

安保闘争・・1960 = 65歳： 結成された民主社会主義研究会議の議長として活躍。

全国総合計画1962 = 67歳：臨時行政調査会委員。国際基督教大学教授に就任。

大学紛争始・1965 = 70歳：「行政学研究論文集」。*お茶の水女子大学学長を退任。

いざなぎ景気1966 = 71歳：勲一等瑞宝章。

美濃部都知事1967 = 72歳：東京都教育委員会委員長。

霞ヶ関ビル・1968 = 73歳：日本学士院会員。全国都道府県教育委員会連合会会長。

石油ショック1973 = 78歳：

田中角栄逮捕1976 = 81歳：

革新大敗北・1979 = 82歳：この年まで、東京都教育委員会委員長を務め、

貿易摩擦始・1980 = 85歳：急性心不全で、_没した。

平凡社百科事典、